

公開シンポジウム

「地球時代の未来を設計する：場の論理の展開」

2009年12月26日（土曜日）13:15-17:30

早稲田大学（早稲田キャンパス）総合学術情報センター（国際会議場一階） 井深大記念ホール

開催趣旨

本公開シンポジウム「地球時代の未来を設計する：場の論理の展開」は情報教育研究所が推進してきた学習者主体の共創的学習の場の創出ならびに本年度より3年間にわたって科学研究費補助金挑戦的萌芽研究の助成を受けて進めることとなった『「場の言語学」の構築：場の意味論と語用論』の研究活動の一環としてNPO法人「場の研究所」の協力を得て企画するものである。

第一部では「場」の理論の創始者清水博氏が、思想的構想としての場の設計原理について論じる。場の思想に基づいた相互誘導合致の技術や二重生命の原理を生かすことの意義、また日本人のところに根ざした場の原理が、普遍的な概念として地球時代の哲学となりうることを論じる。

第二部ではビジネス界で世界をリードする出井伸之氏が、「場の論理」に基づく実践的構想の一つとして、アジア、そして世界における日本の今後の在り方を示す。日本の立ち位置を決める必要性、アメリカと中国との関係をふまえ、世界の中での日本の将来像などについて「場の論理」に基づいて論じる。

第三部では社会インフラとしての言語コミュニケーション研究について検討し、井出祥子氏による提言と原田康也氏による討論を行う。「場の論理」の言語コミュニケーション研究への適用は、言語使用者の実感に即した理論化を可能とし、そのことを通じて世界の言語研究への日本からの貢献となる可能性を秘めていることを示したい。

本公開シンポジウムが、「場」の思想の現実社会での実践、「場」の思想的側面にかかわる考察、その適用としての諸研究分野を相互に活性化する議論となることを目指すとともに、相互誘導合致のための「場」を生み出すことを期待する。本公開シンポジウムの開催を通じて、現在の日本が内包する課題を解決する上で「場」の理論が持つ意義を広く一般の人々に示し、進むべき方向性を見失ったかに見える日本社会が未来に向かって大きく踏み出す第一歩となることを願っている。

事前の申し込み：参加予定人数を把握するため以下の要領でメールにて事前にご一報いただければ幸いです。

- 送付先：symposium09@decode.waseda.ac.jp
- 件名 (Subject 等)：シンポジウム参加希望
- 本文に記載する内容：氏名・メールアドレス
- 個人情報に関する承認事項：この参加申し込みにて送付された情報は本シンポジウムの開催に使用するほか、主催団体・共催団体・企画主体の研究プロジェクトのイベントのご案内のために使用場合があります。本シンポジウム開催に関するご案内以外にメールアドレスを使用されたくない場合にはその旨を添えてください。

当日の開催確認：気象状況・交通機関運行状況・新型インフルエンザの影響なども含め、本シンポジウムの開催ならびに各講演の詳細については予期せぬ変更の可能性も考えられます。当日の参加に先立って、本シンポジウム開催に関する以下の web page にてご確認ください。

<http://www.decode.waseda.ac.jp/announcement-for-2009-12-26-j.html>

早稲田キャンパスならびに国際会議場へのアクセス：以下の地図等をご参照ください。

- o <http://www.waseda.jp/jp/campus/index.html>
- o <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>
- o Mapion (<http://www.mapion.co.jp/>) にて【新宿区西早稲田 1-6-1】を検索
- o Google maps (<http://maps.google.co.jp/>) にて【新宿区西早稲田 1-6-1】を検索

プログラム (予定)

12:45	開場
13:15	開会
13:15-14:30	第一部：場の設計原理と日本のこころ 司会：三輪敬之 講演：清水博 指定討論者：三輪敬之
14:30-14:45	休憩
14:45-16:00	第二部：日本の役割と場の原理 司会：大塚博正 講演：出井伸之 指定討論者：大塚博正
16:00-16:25	休憩
16:25-17:30	第三部：場の言語学：社会インフラとしての言語コミュニケーション 司会：阪井和男 講演：井出祥子 指定討論者：原田康也
17:30	閉会 の挨拶

講演者・指定討論者・司会等 (予定) のプロフィール

三輪敬之氏：早稲田大学教授

清水 博 氏：東京大学名誉教授・NPO 法人「場の研究所」所長

大塚博正氏：ソニー株式会社業務執行役員シニア・バイス・プレジデント

出井伸之氏：クオントムリープ株式会社代表取締役・早稲田大学名誉博士 (法学)・ソニー株式会社アドバイザー
リーボード議長・早稲田大学評議員会長

阪井和男氏：明治大学教授・情報コミュニケーション学会会長・次世代大学教育研究会事務局長

井出祥子氏：日本女子大学名誉教授・国際語用論学会会長

原田康也氏：早稲田大学教授・同総合研究機構情報教育研究所所長

会告

日時：2009年12月26日土曜日 13:15-17:30 (予定)

会場：早稲田大学早稲田キャンパス 国際会議場一階 井深大記念ホール

参加費：無料

対象：どなたでも参加できます。

主催：早稲田大学 総合研究機構 情報教育研究所

企画：科学研究費補助金挑戦的萌芽研究：課題番号 21652041 『「場の言語学」の構築：場の意味論と語用論』

共催：NPO 法人場の研究所

後援：次世代大学教育研究会

後援：情報コミュニケーション学会

協力：早稲田大学メディアネットワークセンター『言語情報科学』研究部会

協力：早稲田大学メディアネットワークセンター『教育の情報化：連携と支援』研究部会

注意事項：

本リーフレットにて予告したシンポジウム・講演・プログラム等は予告なく変更される場合があります。

Copyright © 2006-2009 Institute for DECODE, Waseda University. All rights reserved.

First drafted August 22nd, 2009. Last revised November 13th, 2009.